

『泉岳寺中門隣接のマンション建設反対・用地買い取りを求める署名』署名のお願い

国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化財を守る会  
 代表 西須 好輝  
 賛同者 宗教法人泉岳寺

<国指定史跡でもある泉岳寺の景観が壊されようとしています>

港区高輪に建つ「泉岳寺」は、將軍家光の時代に今の高輪の地に移って以来、この地をずっと見守ってきたお寺です。歴史的には赤穂浪士のお墓があることで有名で、国指定史跡にもなっている港区の大切な文化財の一つです。専門家からは、将来世界遺産にもなれる可能性があるとして指摘されてもいます。この歴史的文化財である、「泉岳寺」の景観は後世に残していくことで、この歴史を色あせることなく伝えられるものと思います。今、この歴史的文化財の横に8階建て(高さ24m)弱のマンションを建てる計画があり、これは泉岳寺の歴史をおおいに変えてしまう事となります。

<マンション建設により、次のような事が考えられます>

## 1. 教育的見地から

「泉岳寺」の景観を残していくということは、後世に歴史を伝えていくためにもとても大切なことです。門の横にお寺の空を隠してしまうようなマンションが建ってしまったら、歴史を伝えようにも、伝わるものは半減してしまうことは容易に想像できるかと思います。これは、未来を託すこともたちへ正しい歴史認識と文化的価値のある物の保護保存の教育を阻害し、心の教育としても「大切なものは守り伝える」事を無視したものです。

## 2. 経済的見地から

港区産業振興課の調べによると、泉岳寺は港区内の観光スポット・史跡の中で観光客が2番目に多く、また興味ある観光スポットでは第一位になっています。これからの人口減少を考慮したときに、港区ではこの6年間は人口増加だということを打ち出していますが、日本全体では確実に人口減少が大きな問題となっており、港区内の財源を住民税からだけで考えることは極めて危険であり、経済を観光資源からの財源としての仕組みを創ることはとても有効なことになると思われます。景観価値の減退により、近い将来における、「泉岳寺」としての「ブランド力低減やイメージ悪化」に繋がる可能性が十分にあります。

## 3. 文化的見地から

今より400年前、元禄期より存続し、大きな歴史的舞台にもなった「泉岳寺」。その中門の横に、8階建てマンションを建てるのは、「泉岳寺」の文化的遺産を全否定するものです。山手線、新駅の誕生も控え世界から、観光客が訪れる事が予想されます。この8階のビルをどう受け止められるか、景観を無視した企業の利益のみを考えたような行動今こそ見直すべき時です。歌舞伎、浄瑠璃などの演目にも必ず取り上げられ、「忠臣蔵」の物語には必ず泉岳寺は登場します。これは将来世界遺産にもなる可能性があるとして指摘されている所以です。この日本人の誇りとして語りつがれてきた「忠臣蔵」。「泉岳寺」を歴史的な文化遺産と認識し伝え守り続けて来たことを、渡したちが次世代に伝えていくことが、日本の歴史をつなげることになるのです。

歴史ある「泉岳寺」の景観が崩されてしまうことは、憂慮すべき事態であると私達は考えます。港区長並びに区議会、教育委員会、には用地買い取りと活用の検討を求め、また文部科学大臣に建設反対の署名を送ります。

署名に御協力ください！

<署名回収場所>

- 署名活動時に回収、もしくは郵送でお願いいたします。
  - 郵送送り先 及び お問い合わせ  
〒108-0074 港区高輪2-11-1 (泉岳寺内)  
国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化財を守る会 宛て 電話番号 070-6560-8062
  - 設置された、署名回収BOX (設置場所についてはホームページで御確認下さい。随時更新いたします。)
- 新しい署名用紙は、下記のサイトからダウンロードしてお使い下さい。  
<http://sengakuji-mamoru.jimdo.com>

<ご記入に際して>

署名には、年齢や居住地の制限はありません。また、ご住所は同一であっても〃を使わずご記入下さい。